

令和元年度学校評価（前半）を振り返って

学校評価にご協力ありがとうございました。

令和元年度学校評価（前半）の集計結果をお知らせします。

今年度も保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）をアンケート形式でご協力いただき、保護者の皆様には全児童数の 96% のご回答をいただきました。ありがとうございました。

洛央小学校では、「学びの広がり、深まりとつながりのある学校」を教育目標とし、「～他者と協働し、学び合う子の育成～」をめざす子ども像として、教育活動を進めています。今回の集計結果を真摯に受け止め、後半以降の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えております。

① 子どもは自ら学ぼうとしていますか。（保護者）

自ら学ぼうとしていますか。（児童）

子どもが自ら学ぶように支援していますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	35.1%	48.6%	14.7%	1.6%
児童（高学年）	26.5%	60.0%	13.5%	0.0%
児童（低学年）	46.3%	36.0%	13.7%	4.0%
教職員	50.0%	46.4%	3.6%	0.0%

「自ら学ぶこと」については8割以上の回答者が、「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した保護者や児童が約13%～17%でした。

「自ら学ぶこと」は学習において非常に重要な要素です。自ら学ぶことを進んで行う児童を育てるために、学習することが楽しいと感じられるよう授業を工夫したり、児童自身の興味関心を的確につかんだり、学習した成果を適切に認め励ましたりすることが大切であると思います。今後も指導力向上に向けて努力していきたいと考えています。

②子どもは嫌なことでも我慢して頑張ることができていますか。（保護者）

いやなことでも我慢して頑張ることができていますか。（児童）

嫌なことでも我慢して頑張ることができるよう支援・指導していますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	26.2%	57.0%	14.5%	2.3%
児童（高学年）	46.7%	46.7%	6.6%	0.0%
児童（低学年）	54.2%	25.7%	17.3%	2.8%
教職員	46.4%	53.6%	0.0%	0.0%

「我慢して頑張ることができる」については8割から9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。しかし、児童の回答では、低学年児童の約2割が「そう思わない」「あまりそう思わない」という回答をしています。また、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答された保護者の方の割合がやや高くなっていました。

学びを広げたり深めたりするには、苦手なことでも我慢して粘り強く取り組むという経験や実践が必要な時もあります。児童の成長にとって必要な時には、我慢してやり抜くことができるよう支援したり指導したりしていきたいと思います。お家でも、苦手なことをやり抜いた時などにほめる言葉をかけていただければうれしいです。

③子どもは友達と力を合わせて活動することができていますか。(保護者)
友達と力を合わせて活動することができていますか。(児童)
友達と力を合わせて活動することができるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	46.5%	48.1%	4.9%	0.5%
児童(高学年)	40.0%	53.5%	6.5%	0.0%
児童(低学年)	55.6%	35.6%	5.0%	3.8%
教職員	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

「友達と力を合わせる事」については9割以上の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。非常にうれしく思います。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童もいました。

小グループでの話し合い活動や同じ課題を解決するために協力して行う活動、給食や掃除などの当番活動、たてわりグループや係の活動、委員会やクラブ活動など、学校では力を子どもたち同士が力を合わせる場面が数多くあります。友達と力を合わせることで充実感を得られるよう、子どもたちの活動を支援していきたいと思います。

④子どもは他の人に優しくすることができていますか。(保護者)
他の人に優しくすることができていますか。(児童)
他の人に優しくすることができるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	47.3%	50.6%	2.1%	0.0%
児童(高学年)	53.3%	40.0%	6.7%	0.0%
児童(低学年)	55.6%	34.4%	7.8%	2.2%
教職員	67.9%	28.5%	3.6%	0.0%

「他の人に優しくすること」についても9割以上の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。「他者と協働し、学び合う子の育成」という本校のめざす子ども像に照らしてみると、他の人に優しく接することでお互いの信頼感が増し、他者との協働が一層図られることにつながるように思います。設問③とも合わせ、友達と協力し、他の人に優しくできる児童であり続けてほしいと願っています。

⑤子どもは自分のことを大切に思っていますか。(保護者)
自分を大切に思っていますか。(児童)
自分のことを大切に思えるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	49.2%	45.6%	4.7%	0.5%
児童(高学年)	60.0%	20.0%	13.3%	6.7%
児童(低学年)	73.3%	20.5%	5.6%	0.6%
教職員	50.0%	46.4%	3.6%	0.0%

「自分のことを大切に思う」については8割から9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。しかし、高学年児童は「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童が約2割おり、高学年ほど自分に対する見方が厳しくなると思われます。

学校でも自己肯定感を高めるための日々の関わりや取組を今後も進めていきたいと思えます。ご家庭でのお声かけもどうぞよろしくお願いいたします。

⑥子どもは最後まであきらめずに取り組むことができますか。(保護者)

最後まであきらめずに取り組むことができますか。(児童)

最後まであきらめずに取り組むことができるよう支援・指導していますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	28.3%	53.8%	15.3%	2.6%
児童(高学年)	40.0%	53.3%	6.7%	0.0%
児童(低学年)	56.5%	29.9%	11.3%	2.3%
教職員	53.6%	42.8%	3.6%	0.0%

設問②の「我慢して頑張ることができる」と同様に8割から9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。低学年児童で「そう思う」とした回答が5割以上でした。また、高学年児童でも、4割が「そう思う」という回答でした。

最後まであきらめずに、粘り強く取り組んでいくことは、学習だけでなく日々の生活や生き方にもつながります。こうした姿勢が身に付くよう、今後も様々な場面で支援していきたいです。

⑦子どもは進んで運動していますか。(保護者)

進んで運動していますか。(児童)

進んで運動できるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	38.2%	40.3%	18.4%	3.1%
児童(高学年)	26.7%	53.3%	20.0%	0.0%
児童(低学年)	52.5%	30.5%	10.2%	6.8%
教職員	14.3%	75.0%	7.1%	3.6%

「進んで運動すること」については「そう思う」と回答した割合が立場によって様々でした。低学年児童は、非常に高く50%以上が「そう思う」という回答でした。高学年児童では26.7%とやや低調でした。ただし、「大体そう思う」を含めると、どちらも8割の児童が運動していると回答していました。

健やかな成長のためには、一定の運動をすることも大切です。休み時間や体育の学習はもちろん、進んで運動できるような取組を今後も考えていきたいと思っています。

⑧子どもは好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(保護者)

好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(児童)

好き嫌いせずバランスよく食べるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	26.2%	45.7%	22.9%	5.2%
児童(高学年)	33.4%	40.0%	13.3%	13.3%
児童(低学年)	40.9%	38.5%	15.6%	5.0%
教職員	42.9%	53.5%	3.6%	0.0%

「好き嫌いせずバランスよく食べること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者が約25%、高学年児童が約25%、低学年児童が約20%でした。設問⑦と同様に、健やかな成長のためには、食事も大切な要素の一つです。学校給食では栄養のバランスを考慮して献立を作成しています。今後も学校と家庭とが連携してよりよい食事ができるよう支援指導していきたいと思っています。

⑨子どもは安全に気を付けて生活することができていますか。(保護者)**安全に気を付けて生活することができていますか。(児童)****安全に気を付けて生活することができるよう支援・指導していますか。(教職員)**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	38.6%	55.1%	6.0%	0.3%
児童(高学年)	53.3%	40.0%	0.0%	6.7%
児童(低学年)	67.6%	26.8%	3.9%	1.7%
教職員	67.9%	32.1%	0.0%	0.0%

「安全に気を付けて生活すること」については、9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答でした。安全に対する意識は高いようです。

実際に行動の様子を見てみると、交差点では信号をよく見て横断歩道をきちんと通る児童や落ち着いて歩いて登下校する児童の姿があります。しかし、一方でつつい歩道を走ってしまったり、歩道から外れてしまったりしている児童の姿を見かけることもあります。事故が起きてしまってからでは取り返しがつきません。安全に対する高い意識を実際の行動に表すことができるよう、来年度も指導を続けていきたいと思います。また、警察や子ども見守りたい、PTAなどの皆様とも協力する取組も今年度と同様に進めていければと考えています。

⑩子どもが目標をもって学習したり生活したりしていますか。(保護者)**目標をもって学習したり生活したりしていますか。(児童)****子どもが目標をもって学習したり生活したりするよう支援・指導していますか。(教職員)**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	21.2%	54.2%	21.8%	2.8%
児童(高学年)	40.0%	33.3%	26.7%	0.0%
児童(低学年)	53.7%	27.1%	14.1%	5.1%
教職員	32.1%	67.9%	0.0%	0.0%

「目標をもって学習したり生活したりすること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者・高学年児童が約25%、低学年児童で約20%でした。昨年度に比べて「そう思わない」という割合が少し増えています。授業では、どんなことを学習するのかを明確にして進めています。今後も学習や取組において、どんなことを目指すのか、どのような力を付けていきたいのかを児童に示しながら、活動をしていきたいと思っています。ご家庭でも学習や生活の中での目標についてお話いただく機会をもっていたいただければありがたいです。

※今回の学校評価で、教職員の回答について「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した項目がありました。以下の項目です。

「子どもが自ら学ぶように支援していますか」

「他の人に優しくすることができるように支援・指導していますか」

「自分のことを大切に思えるよう支援・指導をしていますか。」

「最後まであきらめずに取り組むことができるよう支援・指導していますか」

「進んで運動できるよう支援・指導していますか」

「好き嫌いせずバランスよく食べるよう支援・指導していますか」

こうした教職員の評価は、十分でないと感じている支援や指導について自覚するとともに、支援や指導をさらに充実・向上させるためと捉えています。今後も子どもたちの成長を促すことができる支援や指導をしっかりと考え、実践していきたいと思っています。